

# 農業の未来は、 ここにある。

「特集」 未来を拓く、若き農業者たち つくばみらい4Hクラブ



12月から毎月、第一土曜日に、つくばみらい4Hクラブの皆さんと市が主催する朝市「あさのいち」を開催します。

この「あさのいち」には4Hクラブの皆さんが、自分の畑や田んぼで採れた新鮮な野菜やお米を持ち寄り、直接販売します。

そこで、「あさのいち」応援企画として今回、4Hクラブをより深く知ってもらうため、広報つくばみらいで取材を行いました。

つくばみらい4Hクラブは、市内の若手農業後継者で構成される農業青年クラブです。日本全体で農業離れが深刻さを増す中、農業を元気にしたいという想いから、日々それぞれの圃場で農業に取り組んでおり、正会員14人と準会員1人の15人で活動しています。

この特集では4Hクラブから4人の皆さんに登場してもらい、就農のきっかけや、農業に向き合う姿勢、やりがいなどを紹介していきます。

どんな人が、どこで、どんな想いを込めてつくったのか。それがわかると、よりいっそうおいしく味わえるのではないかと思います。

それぞれに熱い想いを秘め、真摯に農業と向き合おう若き農業者の声にぜひ、耳を傾けてみてください。

## 〔4Hクラブの由来〕

農業の改良と改善に役立つ腕=Handを磨き、科学的にものを考えることのできる頭=Headの訓練をし、誠実で友情に富む心=Heartを培い、元気で働くための健康=Healthを増進するというクラブの信条の頭文字